



PRESS RELEASE

2026 年 9 月 30 日

【ブランド USA】

アメリカ各地で 2027 年中に新規オープンする施設や 開催されるイベントなどの情報を集約したウェブページを開設

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランド USA はこのたび、2027 年に全米各地で予定されている周年、新規オープン、大型イベントなど、訪米旅行の新たな魅力となる最新情報を集約したウェブページを、公式ウェブサイト上に開設しました。建国 250 周年という歴史的な節目を迎えた 2026 年に続き、2027 年中もアメリカ国内で様々な周年の記念行事が催されます。メリーランド州ボルチモアではアメリカの鉄道開業 200 周年、カリフォルニア州サンノゼでは市創設 250 周年、バージニア州ブリストルでは、カントリーミュージックの発展に大きな影響を与え、「カントリーミュージックのビッグバン」と称される 1927 年のレコーディング「ブリストル・セッションズ」100 周年の関連イベントが企画されています。また、ジョージア州のオケフェノキー湿地はアメリカ国内で最も新しく登録されたユネスコ世界遺産として注目を集めることが予想されるほか、ワシントン D.C.では NFL のドラフト、シカゴのリグレー・フィールドでは 1990 年以来初となる MLB オールスターゲームが開催されます。

2027 年中の開業の観光施設としては、デトロイトの拡張工事を経たモータウン博物館、ポートランドのジェームズ・ビアード・パブリック・マーケット、ミルウォーキーのネイチャー & カルチャー・ミュージアム・オブ・ウィスコンシン、アリゾナ州ファウンテン・ヒルズのインターナショナル・ダークスカイ・ディスカバリー・センターなどが予定されています。こうした新たな観光施設の開業や周年、大型イベントが相次ぐ 2027 年は、アメリカの新たな魅力を体験する絶好の一年となります。

以下、当ウェブページに掲載している、2027 年の全米各地の注目トピックスを一部ご紹介します。

アメリカ北東部では、鉄道 200 周年や文化施設の開業、大型イベントが目白押し

フィンガー・レイクスに新たなウェルネスリゾートが開業

ニューヨーク州フィンガー・レイクス地域のワトキンス・グレンに 2027 年秋、新たなブティック・ウェルネスリゾート「ナチュラ」がオープンします。自然豊かな環境の中で、ウェルネスを取り入れた滞在を楽しめる新たなリゾートです。また、ワトキンス・グレン・インターナショナルでは 2027 年 9 月 17 日から 19 日まで、毎年恒例の NASCAR の人気ロードレース「ゴー・ボウリング・アット・ザ・グレン」が開催されます。

ワシントン D.C.で文化施設のリニューアルや大型イベントが続々

ワシントン D.C.では、過去最大規模の改修を終えたハーシュホーン美術館の彫刻庭園がリニューアル



ルオープンするほか、「デザート・ストーム・デザート・シールド・メモリアル」が開業します。また、ワシントン・ダレス国際空港では 14 ゲートを備える新しいコンコース E がオープンし、キャピタル・ワン・アリーナでは 8 億米ドル(約 1,256 億円)規模の改修が行われます。さらに 2027 年 4 月 29 日から 5 月 1 日まで「2027 NFL ドラフト」が開催されるほか、2027 年 3 月 20 日から 4 月 11 日には「第 100 回全米桜祭り(ナショナル・チェリー・ブロッサム・フェスティバル)」を開催されます。1912 年に日本から桜の木が寄贈された歴史を祝い、ブロッサム・カイト・フェスティバル、ペタルパルーザ、全米桜祭りパレードなど、多彩なイベントが予定されています。

アメリカの鉄道 200 周年を記念した新たな展示施設が登場

2027 年は、1827 年にボルチモア・アンド・オハイオ鉄道が認可されてから、アメリカの鉄道 200 周年を迎えます。メリーランド州ボルチモアでは、「ナショナル・ミュージアム・オブ・レイルロード・ヒストリー & イノベーション」として刷新された博物館で、修復された歴史的な鉄道車両やイノベーション・ホール、鉄道の未来をテーマにした展示などを通じて、アメリカの鉄道の歴史と未来を学ぶことができます。また、ペンシルベニア州ストラスバークの「レイルロード・ミュージアム・オブ・ペンシルベニア」には 2027 年初頭、6 両の歴史的な蒸気機関車を間近で見学できる、施設面積約 1,486 平方メートルの新施設「ラウンドハウス」がオープンします。

フィラデルフィアで「スター・ウォーズ」の大型体験型展示が世界初公開

ペンシルベニア州フィラデルフィアのフランクリン・インスティテュートでは 2027 年 2 月、「スター・ウォーズ」シリーズ誕生 50 周年に合わせ、「スター・ウォーズ: ザ・エクスペリエンス」と題された展示が世界初公開されます。約 1,670 平方メートルの会場には、没入型ギャラリーやインタラクティブな展示に加え、ダース・ベイダーの衣装やダース・モールのライトセーバーなど、実際に作品で使用された衣装やアイテムが陳列されます。

「カントリーミュージックのビッグバン」から 100 周年

「カントリーミュージックのビッグバン」と称され、カーター・ファミリーやジミー・ロジャーズなど、後のカントリーミュージックを代表するアーティストを世に送り出した 1927 年の歴史的なレコーディング「ブリストル・セッションズ」から 100 周年を迎えます。これを記念し、レコーディングの舞台となったバージニア州ブリストルのバースプレイス・オブ・カントリー・ミュージック・ミュージアムでは年間を通じて特別展を展開するほか、毎年恒例の音楽フェスティバル「ブリストル・リズム & ルーツ・リユニオン」も開催されます。

また、バージニアビーチのアトランティック・パークにあるブティックホテル「ザ・シティオ」では、客室内スパサービスや日の出・日没に合わせたプログラム、北米初のウェーブガーデン・コープ・サーフラグーンで行う「サーフ・ウェルネス」クラスなど、新たなウェルネス体験をご案内します。

バーモント州に先住民アートを紹介する新施設が開業

バーモント州シェルバーンのシェルバーン・ミュージアムでは 2027 年 6 月、施設面積約 1,040 平方メートルの「ペリー・センター・フォー・ネイティブ・アメリカン・アート」がオープンします。50 を超える先



住民のパートナーや地元アベナキ族のリーダーと連携した展示を通じて、先住民の豊かな文化を学ぶことができます。

バーリントン近郊のウィヌースキーには、マリオット・インターナショナルの「トリビュート・ポートフォリオ」カテゴリの全 115 室のホテル、「シュガー・ハウス・ホテル」が開業します。同ホテルは、マリオット・グループ内初の全電化・ネットゼロのホテルとして、環境性能を評価する国際的な建築認証「LEED」の最高ランク、プラチナ認証の取得を目指しています。

バッファローに建築文化を紹介する新拠点

ニューヨーク州バッファローでは 2027 年、国定歴史建造物に指定されているリチャードソン・オルムステッド・キャンパス敷地内に、「リップシー・アーキテクチャー・センター・バッファロー」が拡張オープンします。築 150 年の歴史的建造物とガラス張りの新棟を融合した約 1,020 平方メートルの施設です。デジタル技術を活用した没入型・インタラクティブ展示を通じ、街全体が「建築の野外博物館」とも称されるバッファローの建築遺産について学べるほか、展示を参考に市内の名物建築を巡るセルフガイドツアーをプランすることもできます。

アメリカ西部では、食、星空、ウェルネスなど新たな旅の体験が登場

ポートランドにジェームズ・ビアードの名を冠した食のマーケットが誕生

オレゴン州ポートランドでは 2027 年春、「ジェームズ・ビアード・パブリック・マーケット」がオープンします。地元農家の直売所、鮮魚店、精肉店、ベーカリー、料理教室用キッチンなど約 40 の店舗や事業者が集まり、年間を通じて週 7 日営業します。「アメリカの料理界の父」と称されるジェームズ・ビアードの故郷であるポートランドに誕生する同マーケットでは、彼が残した料理界への功績に触れながら、オレゴンの食文化を支える農家や食の担い手との出会いを楽しめます。

サンタフェ・オペラが 70 周年

ニューメキシコ州のサンタフェ・オペラは 2027 年、70 周年のシーズンを迎えます。7 月 2 日から 8 月 28 日まで、名作から上演機会の少ない作品、新作にいたるまで、「権力」を多角的に捉えた 5 作品を上演します。開演前に屋外で食事を楽しむ名物のテールゲート・ディナーや、舞台の背後に広がる砂漠の夕景など、同劇場ならではの体験も楽しめます。

アリゾナ州に 2 つの大型施設が誕生

スコッツデールには 2027 年初頭、敷地面積約 11 万平方メートルの複合エンターテインメント施設「ザ・シドニー」がオープンします。広大な敷地内には 5 階建ての「リバー・バイ・ハードロック」ホテル、日本食フードホール「アタシ・ヨコチョ」、ライブミュージック会場「ザ・ラストティック」、シティ・ワイナリー、ピクセル&ソーシャルのピクセルボールコートなどが誕生します。また、近隣のファウンテン・ヒルズには 2027 年初頭、「インターナショナル・ダークスカイ・ディスカバリー・センター」が開館予定です。フェニックス都市圏最大の一般公開望遠鏡をはじめ、プラネタリウム、インタラクティブ展示ホール、シアターなどを備え、ソノラ砂漠の暗い夜空の下で、天文学について学びながら星空観察を楽しむことができます。



サンタバーバラにインクルーシブ・プレイグラウンドが誕生

カリフォルニア州サンタバーバラでは 2027 年夏、イースト・ビーチ近くに、同州のセントラル・コースト地域で初かつ最大規模となる、障がいの有無や年齢、身体能力にかかわらず誰もが楽しめる「グウェンドリンス・プレイグラウンド」がオープンします。同施設は、約 4 万平方メートルにおよぶ複合施設の改修プロジェクトの一環として誕生することとなります。また、ダウンタウンには 2027 年、障がいのある人々の支援を目的とした同地区初のコーヒーショップ「ステート・オブ・マインド・カフェ」が開業します。障がいのある人々を雇用するとともに、収益を障害者支援団体に寄付するカフェです。

サンフランシスコ、「サマー・オブ・ラブ」60 周年

サンフランシスコでは 2027 年、ヒッピー文化や音楽、アートなどのカウンターカルチャーが花開いた 1967 年の「サマー・オブ・ラブ」から 60 周年を迎えます。ムーブメントの中心地となったヘイト&アシュベリーにある「カウンターカルチャー・ミュージアム」をはじめ、フラワーパワーをテーマにしたウォーキングツアーや、1960 年代を象徴するクラシックなフォルクスワーゲンバスでジャニス・ジョプリンやグレイトフル・デッドゆかりの地を巡るツアー、歴史あるフィルモア・オーデトリウムでの公演などを楽しめます。また、ゴールデン・ゲート・パークでは、「アウトサイド・ランズ」や「ハードリー・ストリクトリー・ブルーグラス」などの音楽フェスティバルを通じて、当時から受け継がれるサンフランシスコの音楽文化に触れることができます。

ヨセミテの南玄関口に 20 年以上ぶりの新リゾート

カリフォルニア州オークハーストには 2027 年春、新リゾート「アウトバウンド・ヨセミテ」がオープンします。ヨセミテ国立公園の南玄関口では 20 年以上ぶりとなる新規宿泊施設で、104 棟のキャビンと 14 室の客室、約 230 平方メートルのカンファレンスセンター、リゾートスタイルのプール、ホットタブ、コールドプランジ、レストランなどを備えます。ヨセミテ国立公園を巡る旅の快適な拠点として利用できます。

ソノマ郡に新たなホテルやアドベンチャーパークが登場

カリフォルニア州ソノマ郡では 2027 年、高級会員制クラブ、ソーホー・ハウス初となる「ソーホー・ランチ・ハウス」がケンウッドにオープンします。広大な敷地に 50 棟のコテージとヴィラ、複数のレストランやクラブスペース、ブドウ畑を望むプールなどを備えます。

また、オクシデンタルには 2027 年 1 月、レッドウッド(セコイア)の木々に囲まれたブティックホテル「ザ・リトル・ボヘミアン」がオープンします。13 室の客室に加え、北欧スタイルのミラーキャビン 4 棟を備えます。さらに、近隣のソノマ・ジップライン・アドベンチャーズは、約 0.51 平方キロメートルの敷地を「ソノマ・アドベンチャー・パーク」へと拡張し、19 種類のアクティビティを楽しめる空中アスレチックコースや子ども向けのアドベンチャーエリアを新設するほか、「レッドウッド・フォレスト・カバナ」もリニューアルします。

世界的な食の祭典「テッラ・マードレ・アメリカズ」がサクラメントに再登場



カリフォルニア州サクラメントでは 2027 年、2025 年に約 15 万人を動員した世界的なスローフードの祭典「テッラ・マードレ・アメリカズ」が再び開催されます。世界でも影響力のある食のイベントのひとつとされ、世界各国からシェフ、農家、政策関係者、食のリーダーが集まります。2035 年まで 2 年ごとにサクラメントで開催される予定です。

グレーター・パームスプリングスでウェルネス施設が充実

カリフォルニア州グレーター・パームスプリングスでは 2027 年、新たなホテルやウェルネス施設が続々と登場します。「コラ・パーム・スプリングス」や「ソーホー・デザート・ハウス」、リニューアルする「リビエラ」、V カプリの新施設に加え、パームデザートではサーフィンを楽しめる「DSRT サーフ」などが登場し、滞在やウェルネスを楽しむ選択肢がさらに広がります。

サンノゼが市の創設 250 周年

カリフォルニア州サンノゼは 2027 年 11 月 29 日、1777 年の市の創設から 250 周年を迎えます。そして、市内のオペラ・サンノゼとシンフォニー・サンノゼの本拠地「カリフォルニア・シアター」も同年 4 月に 100 周年を迎えます。1927 年に映画館兼劇場として開業した同劇場は、1920 年代の映画劇場の姿を今に伝える歴史的建造物で、スパニッシュ・バロックとイタリア・ルネサンス様式の建築、優れた音響、歴史あるウーリッツァー製パイプオルガンで知られています。

モーガン・ヒル近郊に新たなフードマーケットが開業

2027 年秋、カリフォルニア州モーガン・ヒル近郊に、約 3,700 平方メートル敷地面積を誇る屋内外型マーケット「ファットリア・パブリック・マーケット&フード・ハブ」がオープンします。地元の農産物や食材を生産者から消費者へ届ける「ファーム・トゥ・フォーク」をコンセプトに、地元の農家や食品生産者、職人が集まり、ダイニングやワイン、ビール、シードルを楽しめるガーデンを設けるほか、農業に関連したプログラムも開催されます。

サンダンス映画祭が初めてコロラド州ボルダーへ

アメリカ最大規模のインディペンデント映画(独立系映画)を対象とした国際映画祭、「サンダンス映画祭」は 2027 年 1 月 21 日から 31 日まで、初めてコロラド州ボルダーで開催されます。歩行者天国として知られるパール・ストリート・モール周辺のダウントウンや、コロラド大学ボルダー校の施設などが会場となります。

アメリカ中西部では、文化・音楽施設や新規ホテルが続々オープン

シカゴに新たなアトラクションが登場、MLB オールスターゲームも開催

シカゴでは 2027 年、通年型の没入型ホラー体験施設「ユニバーサル・ホラー・アンリーシュド」がオープンするほか、夏にはキャンディの歴史や文化を紹介する体験型施設「キャンディ・ホール・オブ・フェーム・エクスペリエンス」が開業します。また、歴史あるリグレー・フィールドでは 7 月 13 日、1990 年以来初めてとなる MLB オールスターゲームが開催されます。

シンシナティでホテル開業や周年が相次ぐ



オハイオ州シンシナティは、新たに創設される「ミシュランガイド・アメリカン・グレート・レイクス版」の対象都市となり、2027年4月21日に初のレストランセレクションが発表されます。また、ダウントウンでは本年7月、歴史的建造物「グウィン・ビルディング」を改装した全165室のブティックホテル「フィデリティ・ホテル」が開業しています。同ブランドとしては全米で2軒目となります。また、シンシナティを代表する歴史ある公設市場「フィンドレー・マーケット」が175周年を迎えるほか、地域の芸術文化を支援する「アーツウェーブ」は100周年を記念し、地域全体でアートイベント「100 デイズ・オブ・アーツ」が開催されます。さらに、タフト美術館では、アメリカ黒人芸術の先駆者ロバート・S・ダンカンソンが1850年代に制作した壁画、「ダンカンソン・ミューラルズ」が175周年を迎えます。同作品は、南北戦争以前に制作され、現在も残るアメリカの重要な美術作品のひとつとされています。

ミルウォーキーに大型自然・文化博物館が誕生

ウィスコンシン州ミルウォーキーでは2027年、2軒のAC・バイ・マリオットホテルが開業するほか、春にはミルウォーキー・パブリック・ミュージアムを刷新した新施設として、総工費2億5,500万米ドル（約400億円）が投じられた「ネイチャー＆カルチャー・ミュージアム・オブ・ウィスコンシン」が開館します。敷地面積約18,600平方メートルの館内には、没入型展示、プラネタリウム、バタフライガーデン、ルーフトップテラスなどが設けられます。そのほか、修復された1916年築のフランク・ロイド・ライト設計住宅を見学するツアー、ハーレーダビッドソン本社の680万米ドル（約10億7,000万円）規模の改修作業とクラフト蒸留所の新設、9,520万米ドル（約149億5,000万円）規模のミルウォーキー空港再開発と新国際線ターミナルの整備等も予定されています。

デトロイトのモータウン博物館が大規模拡張

ミシガン州デトロイトのモータウン博物館は、7,500万米ドル（約118億円）を投じた拡張工事を経て、2027年春に再オープンします。ベリー・ゴードィが1959年にモータウン・レコードを創設したオリジナルスタジオ「ヒッツヴィル U.S.A.」を核に、起業やエンターテインメント、教育のための新施設「ヒッツヴィル・ネクスト」をはじめ、プロ仕様のレコーディングスタジオ、パフォーマンスシアター、インタラクティブ展示、カフェなどが登場します。

デトロイトに3軒の大型ホテルが開業

ミシガン州デトロイトでは2027年、3軒の大型ホテルが相次いでオープン控え、合計一千室を超える客室が新たに加わることであります。全米最大級の歴史的建造物再生プロジェクトのひとつであるミシガン・セントラル・ステーションには、全180室の「ノマド・デトロイト」が開業するほか、歴史的なハドソンズ跡地には、市内初の5つ星ホテルとなる全227室の「ザ・デトロイト・エディション」が登場します。また、全601室の「JW マリオット・デトロイト・ウォーター・スクエア」が開業し、ハンティントン・プレイス・コンベンション・センターと直結します。

アメリカ南部では、世界遺産やテーマパーク、新規リゾートに注目

ケンタッキー州ヘンダーソンが新たなクルーズ寄港地に

ケンタッキー州ヘンダーソンが、クルーズ会社「バイキング」が2027年に新設する2つのリバークルーズ航路の寄港地として加わります。15日間の「バイユー、ブルース&ブルーグラス」と8日間の「ミ



「シシッピ&オハイオ・リバー・エクスプローラー」で、客船「バイキング・ミシシッピ」が計 4 回寄港します。そのうち 6 月 18 日の寄港は、世界最大級の無料音楽フェスティバルのひとつ「W.C.ハンディ・ブルース&BBQ フェスティバル」の開催期間と重なります。

メンフィスでエルヴィス・プレスリー没後 50 周年

テネシー州メンフィスのグレイスランドでは 2027 年、エルヴィス・プレスリーの没後 50 周年を記念する特別な「エルヴィス・ウィーク」が開催されます。世界各国からファンが集まり、ライブコンサートやトークイベント、特別プログラムなどを通じて、「キング・オブ・ロックンロール」と称されるエルヴィスの功績と音楽を振り返ります。

ルイジアナ州で鉄道やアウトドア体験が拡充

ルイジアナ州では、アムトラックによるバトンルーージュとニューオーリンズ間の旅客鉄道の運行が再開します。また、レイクチャールズでは、パドリングスポットへのアクセス拡充や新たなカヤック乗り場の整備、宿泊施設の刷新に加え、500 万米ドル(約 7 億 9,000 万円)を投じて、約 3.2 平方キロメートル面積の生息環境を再生するプロジェクトが進められます。また、ルイジアナ州の食文化への評価も高まっており、2027 年には「ミシュランガイド・サウス」による新たな評価の発表も見込まれています。

オザーク地方の人気テーマパークに新ライドと初のリゾートホテルが登場

ミズーリ州オザーク地方にある、1880 年代のアメリカをテーマにしたテーマパーク「シルバー・ダラー・シティ」では 2027 年春、鉱山列車をテーマにしたファミリー向けコースター「マイナーズ・マウンテン・エクスプレス」がデビューします。さらに、65 年以上の歴史を持つシルバー・ダラー・シティ初のリゾートホテルとして、テーマパークに隣接する全 262 室の「シルバー・ダラー・シティ・リゾート」も 2027 年にオープンします。

セント・ピーターズバーグで「ジ・オーシャン・レース・ストップオーバー」を初開催

フロリダ州セント・ピーターズバーグのウォーターフロントでは 2027 年 5 月 4 日から 16 日まで、世界一周ヨットレース「ジ・オーシャン・レース」の寄港イベントが開催されます。同大会がこの地域で開催されるのは大会の 54 年におよび歴史で初めてで、2027 年大会では北米唯一の寄港地となります。ウォーターフロントに設けられる「オーシャン・ライブ・パーク」では、ライブエンターテインメントやセーリングに関する展示、サステナビリティをテーマにしたプログラムなどが開催されます。

ウォルト・ディズニー・ワールドに新リゾートが開業

フロリダ州のウォルト・ディズニー・ワールド・リゾートでは 2027 年夏、ベイ・レイク湖畔に「ディズニー・レイクショア・ロッジ」がオープンします。自然をテーマにしたリゾートで、約 1,000 室の客室、湖畔のレイクハウス、レストランのほか、プールや流れるプールを備えた広々としたレクリエーションエリアが誕生する予定です。

パインハースト・リゾートに 11 番目のゴルフコースが誕生

ノースカロライナ州の名門ゴルフリゾート「パインハースト・リゾート」には 2027 年秋、11 番目のゴルフ



コース「No.11」がオープンします。著名なゴルフコース設計家のビル・クーアとベン・クレンショールが設計を手がけ、総面積約 3.6 平方キロメートルにおよぶ歴史ある「パインハースト・サンドマイنز」の地形を生かした 18 ホールのコースが誕生します。

ジョージア州のオケフェノキーがアメリカ最新の世界遺産に

ジョージア州の「オケフェノキー国立野生生物保護区」は、アメリカで最も新しく登録されたユネスコ世界遺産で、国内最大のブラックウォーター湿地が広がります。約 15,000 匹のアメリカアリゲーターが生息し、全長約 193 キロメートルにおよぶパドリングコースをはじめ、自然ガイド付きボートツアーや、湿地内に設けられた宿泊用デッキでのキャンプなどを楽しめます。また、アメリカ南東部で唯一、「ゴールド・ティア」に認定されたダークスカイ・パークでもあり、夜には美しい星空を観賞できます。

シックス・フラッグス・フィエスタ・テキサスが 35 周年

テキサス州のテーマパーク「シックス・フラッグス・フィエスタ・テキサス」は 2027 年、開園 35 周年を迎えます。これを記念して、全長約 1.3 キロメートルのファミリー向けコースター「ウェアウルフ・ゴージ」がデビューします。コース上では 4 回の急加速や、無重力感を楽しめる 32 カ所のポイントに加え、ストーリー性を取り入れた演出も楽しめます。

ウォルドーフ・アストリアがテキサス州に初進出

テキサス州フレデリックスバーグに 2027 年から 2028 年後半にかけて、テキサス州初のウォルドーフ・アストリアブランドの施設、「ウォルドーフ・アストリア・テキサス・ヒル・カントリー」が開業予定です。全 60 室のホテルに加え、87 戸のレジデンス施設「ウォルドーフ・アストリア・レジデンス」も同時開業の予定です。5 つのレストラン&バー、約 1,020 平方メートルのスパ&フィットネス施設、2 つのリゾートスタイルのプール、約 560 平方メートルの屋内ミーティングスペースなど、充実の施設を備えます。

ハワイおよびアメリカ領では、歴史的ホテルの 100 周年やクルーズの拡充

「太平洋のピンク・パレス」が開業 100 周年

ワイキキを代表する「ザ・ロイヤル・ハワイアン・ラグジュアリー・コレクション・リゾート」が 2027 年 2 月、開業 100 周年を迎えます。「太平洋のピンク・パレス」の愛称で親しまれる同ホテルでは、100 周年を記念した改装を進めるとともに、特別な文化プログラムや歴史的・文化的価値のあるアート作品の修復、ワイキキとの深いつながりを祝う記念イベントが予定されています。

プエルトリコ・サンフアンへのクルーズが拡充

2027 年、複数の大手クルーズ会社がプエルトリコのサンフアンへの寄港を増やす予定です。「カーニバル・フィレンツェ」が 4 月に初寄港するほか、新造船「カーニバル・フェスティバーレ」も 2027 年春に就航し、6 月以降サンフアンに複数回寄港します。また、「シーボーン・オーバーシオン」も 2027 年に、サンフアンを母港とする航程と、航路途中での寄港を予定しています。

米領ヴァージン諸島が世界一周ヨットレースの寄港地に

セント・トーマス島は、「クリッパー2027-28 ラウンド・ザ・ワールド・ヨットレース」のホスト港およびチー



ムパートナーを務めます。約 1 年をかけて 4 万海里以上(約 7 万 4,000 キロメートル)を航行する世界一周レースで、カリブ海への寄港は 14 年ぶり、米領ヴァージン諸島への寄港は大会 30 年の歴史で初となります。さらに 2027 年には、クラブメッドがセント・クロイ島に新たなリゾートをオープンし、米国領への展開を再開する予定です。

旅の計画や詳細情報については、ブランド USA の[公式ウェブサイト](#)をご覧ください。

「アメリカは常に進化を続け、旅行者を驚かせ、楽しませる新たな魅力が次々と生まれています。2027 年には、各地で迎える節目の周年や新たな施設の開業、生まれ変わるさまざまな体験が新たな旅行需要を生み出し、世界中の旅行者に全米各地を訪れるきっかけを提供します。歴史的な一年となった 2026 年の勢いを LA28 オリンピックへとつなげながら、アメリカへの旅行需要は今後も高まっていくと考えています。今こそアメリカ旅行を計画する絶好のタイミングです。」(ブランド USA のプレジデント兼最高経営責任者、フレッド・ディクソンのコメント)

上記ニュースの関連高解像度画像素材は、[こちら](#)よりダウンロードいただけます。

当リリースに関するお問い合わせ先

ブランド USA 日本事務所 (広報担当: 早瀬、水口、野間)

TEL: 03-6261-5385 E-mail: BrandUSAJapan@aviareps.com